

令和6年度 調布市立国領小学校 学校経営計画 (学校長 内海 美穂)

学校の教育目標	
◎よく考える子 仲良くする子 元気な子	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
「認め合い、高め合い、笑顔あふれる学校」 新学習指導要領が目指す主体的で対話的な学びの中で、認め合いの土壌を育み、さらに学ぼうとする意欲を高める。自他を尊重し、互いを認め合う関係から、思いやりの心を育てる。保護者・地域も教育活動に協力・参画して学び育ち合う学校づくりを推進し、「認め合い、高め合い、笑顔あふれる国領小学校」を目指す。	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直な児童が多く、学習や行事に意欲的に取り組む。しかし、学力・体力には二極化傾向があり、より一層授業改善を図る必要がある。 ・学習規律・基本的生活習慣の定着を図るとともに、個別に支援を要する児童や不登校傾向の児童について、関係諸機関と連携をとりながら、重点的に改善を図っていく。
中期的な経営目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1 思いやりの心や規範意識をもち、自他を尊重する児童を育成する。 2 基礎基本の定着を図り、主体的・対話的で深い学びを創り出す児童を育成する。 3 健康維持・体力増進のため自ら考え、判断し、実践する児童を育成する。 4 安全・安心な学校、地域と共にある学校を推進する。 5 読書活動を通して、児童の「豊かな心・感性」を育み、「確かな学力」の基礎を醸成する。 6 特別支援教育コーディネーターを中心に、組織的に個に応じた指導を行い、児童の自尊感情や自己肯定感を高める。 	
人・組	<ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭・主任教諭を中心に、組織的に教員の授業力・資質向上を図る。 ・それぞれのキャリアプランを明確にし、早期から学校マネジメント能力の視点を育成していく。

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 児童の自尊感情や自己肯定感を高める教育の充実を図る。合言葉は「は・あ・と」とし全校で取り組む。(話を聞く、あいさつをする、友達となかよくする)	① 「自ら課題を解決しようとする力」や「学びに向かう力」を身に付けたい力とし、今年度の校内研究である算数科を中心に学びの実現を図る。校内での研修・研究授業を年間6回実施する。	① 児童の健康維持・体力増進への意識を高め、基本的習慣の定着を図る。運動の楽しさを実感する体力向上に向けた取り組みを行う。
② 人間関係作りを大切にされた教育活動のもと、いじめをしない、させない集団作りを行うと共に、差別や偏見を持たない人権尊重の意識を育てる	② 主体的・対話的で深い学びを作り出す授業の創造を目指すとともに、各教科において、言語活動を充実させ、自分の考えを表現する力を育成する。	② カリキュラムマネジメントを活用し、国際理解教育や日本の伝統文化理解教育等、オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを引き継いでいく。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 各学年・学級の毎学期の振り返りをもとに、個々の児童の課題を捉えるとともに、「あいさつ」や「きまりを守る」項目において、90%を目指す。	② 学校関係者評価アンケート・児童アンケートにおいて、学習内容の理解に関する肯定的評価90%を目指す。	① 学校関係者評価アンケート・児童アンケートにおいて、健康・体力増進に関する肯定的評価90%を目指す。
③ 学校関係者評価アンケート・児童アンケートにおいて、「楽しく学校生活を送っている」という項目において肯定的評価90%を目指す。		
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4	5	6
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 感染予防対策やアレルギー対応を踏まえた安全・安心な教育環境を整備する。コミュニティ・スクールを立ち上げ、地域人材の発掘や地域と連携した教育活動を充実させるとともに、地域学校協働本部を中心に、家庭・地域との連携協力を一層進める。	① 読書活動「本のたからばこ」を充実させ、本に親しむ児童を育成する。読書週間を年間3回実施するとともに、文化講座を各学年実施する。	① 個に応じた指導を行い、一人一人の児童の基礎・基本の定着や自己肯定感を高める指導を行う。特別支援コーディネーターを中心に校内委員会で組織的に対応する。
② 幼保小・小中など校種間連携を推進すると共に、学校だよりやHPを活用して学校情報を適時に分かりやすく発信する。		② 支援員による学習補助や放課後の補充学習、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境を設定する。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 学校関係者評価アンケートにおいて、学校と地域・PTAとの連携に関する肯定的90%を目指す。	① 学校関係者評価アンケート・児童アンケートにおいて、読書活動に関する肯定的評価90%を目指す。	① 学校関係者評価アンケートにおいて、個別指導の充実に関する肯定的評価90%を目指す。
人材育成・組織運営		
<ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制の導入に向けて交換授業を行い、各担任が学年全体を把握するとともに、若手教員の児童理解や学級経営力、授業力向上を図る。 ・月に一度の若手研修等、OJTを活用した組織的な教員の授業力・資質能力の向上を図る。 ・管理職選考や教師道場やなど、経験年数を考慮した個々のキャリアプランの実現に向けた研修を受けさせていく。 		

